

2022 未来に伸びるせんだん（学校経営構想）（概要）

”未来に伸びるせんだん”に寄せて
同じことを同じように行うだけの教育の時代は去った。
その子のものの見方や考え方に真摯に向き合い、どこまで一人一人が違うことに
寄り添えるかが問われる。多様性の中にこそ新たな時代の光がある。



＜特色＞西山口地区及び学校のシンボルである『せんだん』と子どもの成長を重ねることで、
共に未来に向かって伸びゆく願いを表現している。

4 『葉』をしげらせる

学校経営の具体

- 4つ時季で成長、3つの課で指導、3つの学びの場（研修、生徒指導、特別支援）。
 - ①4つの（せん）だん→なかま、チャレンジ、じまん、ありがとう
 - ②3つの指導課→まなび課、こころ課、かつどう課＋3つの自慢（あったか課、掃除、挨拶）
 - ③3つの学びの場→考えをつなぐ授業、多様性と子ども理解、外部機関との連携

3 『枝』をのばす

学校経営の方向

- 学校は「3つのキーワード(keyword)」をもとにPDCA（計画、実践、評価、改善）。
 - ①「笑顔」→全ての教育活動に対する指導・支援、自己改革・他者理解のエネルギー
 - ②「チャレンジ」→実践することで学び続ける教師
 - ③「チーム西山口」→地域（保護者）と学校の双方向的な連携、学園化構想の流れ

2 『幹』をかまえる

学校経営と目標

- 学校には「3つの目標」がある。
 - ①教育目標「あふれる自分らしさ つなぐ未来」（4年目）→長いスパンでの大きな目標
 - ②重点目標「笑顔でやりぬこう 笑顔でつながろう」（1年目）→年度区切りの小さな目標
 - ③経営目標：8項目（経営構想p2）→数値等、目に見える目標により評価、改善

1 『根』をはる

学校経営の基盤

- 今、学校に求められているものは？
 - ①時代が求めるもの ②行政機関が求めるもの ③地域・保護者・児童が求めるもの

5 『土』をたがやす

学校経営の土壌

- 今後の学校のあり方、魅力ある職場・職務へ。
 - ①＋地域（教育後援会）＋掛東学園（学園化構想）＋保護者（PTA活動等）
 - ②＋勤務時間の適正化＋不祥事根絶＋労働環境整備＋同僚性・やりがい

※「学校経営構想」では「根」から順に「幹→枝→葉」と展開し、最後に「土」に戻る。